



ゆうあい

校長ブログ→



学校教育目標：『在りたい自分を創る主人公』

2025(Ｒ7)年4月23日
豊岡市立豊岡小学校 学校だより
No.2 児童数323名

～特別支援教育は学校教育の中心～

「支援のいない子は一人もいない」この考え方をもとにして、豊岡市の教育は進められています。障害の程度や有無に関わらず、子ども一人一人の実態を十分に把握して、すべての子どもが進んで教育活動に参加でき、学ぶことができるよう、授業をはじめとする教育活動の質を上げていこうという考え方です。本校では、一人一人の強み・弱みを把握し、適切な支援を行うことで、全員が学べる授業づくりを目指しています。

通常学級では一斉での指示や質問、説明、作業などがいまだ多くあり、一人一人の苦手や課題をその時間内で解決することが困難なケースがあります。また、一人一人のわかり方や、見え方、器用さなどを、授業を進めながら改善・克服していくこと等、指導や支援の仕方も課題となっています。

「先生の指示を聴くことや書くこと、音読などが苦手で、それらのやり方を学び、克服できればもっと自信を持てるかもしれない。」

「不注意や衝動性、多動性などがあり、注意の向け方や見通しの持ち方などを身につけられたら、もっと集中して学習できるかもしれない。」

「気持ちの切り替えやコントロールの仕方を児童本人が身につければ、ストレスも少なく、様々な活動がうまくやっていけるかもしれない。」

このように、学習に向かう段階で、苦手な部分や少し不器用さがあるなどのケースでは、「通級指導教室」で、専門性の高い教員から個別の指導を受けながら通常学級での学びにくさを改善していくこともできます。

～はばたき教室（通級指導教室）へのご理解を～

専門の教員が巡回してきて、「はばたき教室」で子どもに個別の指導をしています。通級指導教室では、一人一人の苦手や困難を軽減・克服するため、様々な自立活動に取り組みます。細かな指先の動きや体全体を使った運動でバランス能力を高めるトレーニング、注意の集中を高め自分なりの学び方を身につけるトレーニング、気持ちの切り替えやよりよいコミュニケーションを習得するなどのトレーニングに取り組みます。クラスの仲間たちも、はばたき教室で頑張っていることを理解し、温かく送り出したり迎えたり、励ましたりできる温かい関係を築いてほしいと願っています。

「特別支援教育は、学校の中心にある。」豊岡小学校は、一人一人の違いを大切に、互いの良さや頑張りを認め合い、他者を理解し合う学校づくりを目指しています。特別支援教育およびはばたき教室への一層のご理解をお願いします。(裏面へ続く→)

「在りたい自分を創る」

～満たされた状態を創り、持続させよう（ウェルビーイングをめざして）～

先日、西門で朝の立ち番をしていると、膝をけがした1年生がやってきました。付き添いの保護者の方から「転んだようです。お願いします。」と引き継ぎました。保健室に連れて行こうと思ったのですが、その時に限って次々と車がやってきて、すぐに連れて行けそうにない状況でした。

そんな困っている私の姿を見たのでしょうか。ある高学年が近づいてきて、「私が保健室に連れていきましょか？」と言って、けがをした1年生を連れて行ってくださいました。立ち番をしながら、その後ろ姿を見送っていると、もう一人の高学年も合流し、かがみこみながら1年生と目線を合わせて会話をした後、保健室に連れて行ってくださいました。（校長）

どの子どもよいところ、素敵な心を持っています。人の痛みや困りを見て、助けてくれた子どもたち。「人を放っておけない」という心が育っています。この子たちの「在りたい自分」はどんな自分なのでしょう？自分の良さに気づいてくれたらいいなあと思います。

もっともっと、私たち大人は、日ごろ見え隠れしている子どもたち一人一人の良さを見つけることを大切にしなければ・・・と感じました。

子どもたちが、心も満たされ、体の調子もよく、学校や家庭、地域でも居場所がある。学校、家庭、地域一丸となって、そんな「満たされた状態」を子どもと一緒に創り、持続させていきましょう。



↑ そうじも、自分から取り組んでいます。ステキ！

【学校生活紹介】 ↓ 1年生給食開始 ↓



初めての給食です。準備も自分たちでできるところをします。盛り付けは、難しいけど頑張っています。おいしい給食が始まって、もっともっと学校が大好きになりますように・・・。